

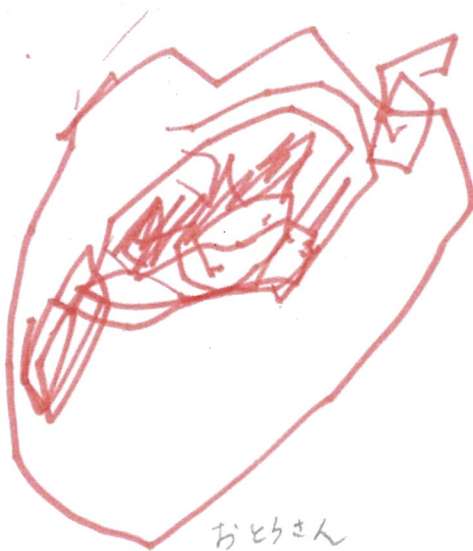
令和3年度

PTA新聞 第一号

やまびこ



おめえさん



おとくさん



おじいさん



2021年7月発行

PTA広報部

小学部5年生

中学部2年生作

コロナ禍における教育活動の充実

校長 小林 勝

令和元年度末の全国一斉の緊急事態宣言以降、学校における教育活動は大きく変わりました。学校では、3密防止、教室環境の消毒、学校行事の縮小などの状況が起きました。本年度のPTA活動においても、本校PTA総会並びに県知P連総会の書面開催、各専門部の活動も大きく制限を受けることとなりました。

現在、7月末までを目標に65歳以上の方へのワクチン接種が進められています。8月以降からは、基礎疾患のある方、12歳以上の一般の方を対象としたワクチン接種が進んでいくことが示されています。

このようなコロナ禍において、本校では新校舎移転後、教室環境も整い、児童生徒数も適正規模であることから、3密を防ぎ分散しての教育活動を行うことができています。本年度のプール学習も一度に入る児童生徒の人数を抑え、感染予防措置を講じ6月2日にはプール開きを迎えることができました。当日は、小学部の児童がプール学習で満面の笑みを浮かべていました。

来年度以降は、多くの国民がワクチンを接種し新型コロナウイルス感染症に対して集団免疫が獲得され、平時に近い生活へ戻っていくことができると期待しています。その時までは、山梨県及び富士東部地域の感染状況に応じて、学校と保護者の皆様とが両輪となり学校内、家庭内の感染予防に努めながら児童生徒の教育保証とPTA活動に取り組んでいくことが大切と考えます。本校の教育活動を更によりよいものにしていくためにも、保護者の皆様から御意見がございましたら学校にお伝えいただきたいと思います。

教職員一同、PTAの皆様と共に、よりよい学校づくりを進めていきたいと考えておりますので、本年度も御理解と御協力をお願いいたします。

PTA 会長挨拶

PTA 会長

コロナ禍2年目、これまで吹いていた風が急に止まったかのような思いでいる日々の中、新年度はスタートしました。今年度のPTA活動は、昨年度と同じ方向性で活動を進めていくこととなりました。

5月のある日、学校に着くと高等部の生徒達が玄関の窓を一生懸命に磨いていました。校内実習の活動だったのでしょう。先生方の創意と工夫で子ども達は自分たちの未来を切り開いているんだなあと感じ、その時さわやかな風が私の横を吹き抜けていきました。

PTA活動も新たな道を探っているこの頃です。その新たな道を創意と工夫で歩いていきましょう。みんなの輝く笑顔を想像しながら。

今年一年PTA会長としてよろしくお願いします。



昨年度の学校評価アンケートにおいて ICT の活用状況が保護者に知れ渡っていないことがわかりました。また、今年度より、国の政策で「GIGA スクール構想」のもと、高速度の通信環境で一人一台の端末（本校は iPad）が使えるようになりました。

そこで、今回は PTA 役員さんから質問を募り、それをもとに本校の ICT の活用状況についてレポートしたいと思います。

やまびこ ICT レポート



そもそも ICT ってなに？



情報通信技術の略です。パソコンやタブレット、その他さまざまなコミュニケーションツールを利用することも含まれます。

さっそくやまびこでの 利用の様子を見てみましょう！



高等部 ICT 活用事例

高等部では調べ学習の際に一人ひとりが iPad を使用し、インターネット検索などに取り組んでいます。また、教室の密を避けるためティームス（zoom のような機能）を活用しオンラインでの授業にも取り組んでいます。今年度プロジェクターが各教室 1 台ずつ設けられ、プロジェクターの映像をホワイトボードに写し出し生徒に見やすいよう授業をしています。また書画カメラをつなげ、生徒の作品やレポートを提示して学び合っています。



自立活動で活用



プロジェクターの活用の様子

中学部 ICT 活用事例



多くの授業において説明にプロジェクターを用いています。見るべき場所がはっきりすること、コンピュータで作った資料は写真やイラストを多用できることなどから生徒の注意が集まりやすくなります。朝の体育では、場所の都合で一斉に集まることができない曜日は、各教室にチームの先生の動きを配信してストレッチを行っています。「一人1台 iPad」は、調べる、撮る、音声入力、アプリの活用、自分のフォームや行動を客観的に見るなど、様々に役立っています。



生徒の手書きレポートを書画カメラとプロジェクターを用いて写し、発表しています。



パソコン教室では、調べ学習を行ったり、コピーや貼り付け、写真挿入などの技術を学び、ちらし作りやレポート作りを行ったりしています。



教師の作ったコンピュータ上の教材を視線で動かしています。



個別学習で辞書として用いたりアプリを利用して学習したりしています。



感染症蔓延防止のための休校中、一人一台の iPad を配りリモートで朝の会帰りの会をしました。



教師の作った説明を iPad に挿入しそれを見ながら作業をしています。

小学部 ICT 活用事例

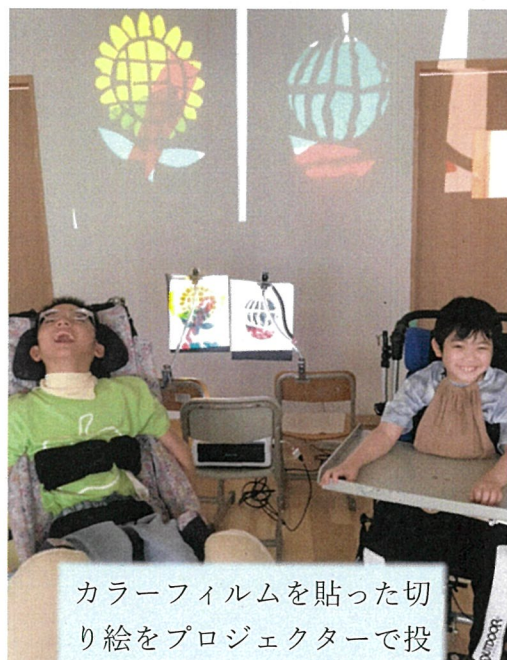
生活、音楽、図工など様々な授業で活用しています。映像に合わせて楽器で演奏したり、学習内容を確認したりなど活用方法は様々ですが、子ども達の興味関心がとても高く、集中して学習に向かっています。体育では、子ども達の動きを撮影し、振り返りをしたことで自分自身の動きを見る貴重な体験ができました。また、国語算数においても本の読み聞かせ、数の操作など一人一人の実態に応じた学習を行っています。



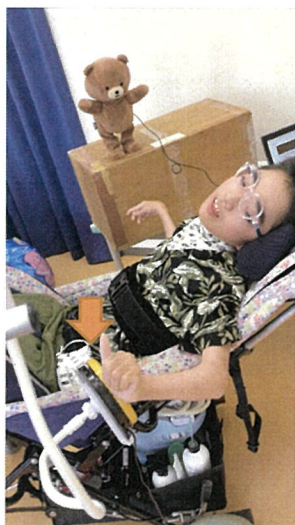
七夕の学習では、七夕さまのお話や童謡を動画で見ながら楽しみました。



音楽では、映像付きの曲を聴きながら、楽器を鳴らしています。



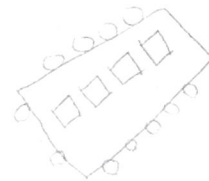
カラーフィルムを貼った切り絵をプロジェクターで投影しました。



PCを介して、スイッチを押すとクマが音を鳴らしながら動く仕組みです。



スマートフォンなどから bluetooth でスイッチを作動させる仕組みです。スマートフォンを外部スイッチとつなげれば、小さな動きで大きな変化を生み出せます。(部屋の電気の On/Off など) ※今は、教員の合図と共にパチッと部屋が暗くなり、ジャーンとカーテンを開けて天気確認!、といった使い方をしています。



Q&A

学部の子組みの違を教えてください。

いづれの学部においても、パソコンで作成した教材や写真、生徒のレポート及び作品は、プロジェクターやTV画面を通して提示しています。

タブレットは、小学部、中学部には、政府の方針により一人一台 iPad が用意されています。高等部は、3人に1台の割合で用意されています。

小学部では、児童はまだ利用していません。中学部は、先の紹介にあったように、調べ学習に利用する他、個別の学習で漢字を調べたり、言葉の意味を調べたりするのに役立っています。辞書と違って映像も出てくるためよりイメージが広げられ言葉の理解に役立っています。また、音声入力機能を利用し、発声の意欲を高めることに役立っています。美術では、課題にあった風景や物を各自で見つけ写真に収めました。体育や自立活動では、自分の姿を確認するのに使うこともあります。職業・家庭科では写真をふんだんに使った説明書を iPad に入れることで、考えながら自分のペースで制作することに役立ちました。

高等部では、調べ学習に利用したり、アルバムづくりを行ったりしています。今後アプリが導入されればタイピング学習を行いたいと思っているグループもあります。また、作業班の学習においては、自分の意思や報告を文字で入力し音声再生機能を使って伝えることや、カウントアプリを導入し品物の数を数えることに役立っています。生徒の困難に感じていることに iPad を用いて、可能性を広げています。

今後、高校生は、学校に自分のタブレットなどを持ち込んで学習等に役立てる利用法 (BYOD) になるといわれていますが、本校では、一人一台となるよう iPad を増やす予定です。

メリット・デメリットについて教えてください

メリットについては、上記のように個々にあった使い方ができること、知ること、発信すること、創造すること・・・多岐にわたって利用できることです。体の一部に成り代わった機能を発揮する点は、児童生徒の世界を広げる上で大変なメリットです。デメリットは、学校では、教員がコントロールして使いますので特に感じていません。小学生の時期は、十分に体を使って実体験を重ねることが大切ですからそれを重視した活動を行うため、タブレットの利用は中・高等部ほどではありません。タブレットの便利さに夢中になってしまうと、日常生活の中で実体験から学ぶ機会が減ることが心配です。

家庭に持ち帰るようになった時、親が教えられるか心配です

今のところまだ家庭に持ち帰るところまで準備が整っていません。持ち帰るようになる時は、御家庭に不安の無いよう準備をしていくつもりです。

「新入生紹介」のコーナーは、個人情報のため、
ホームページへの掲載を控えることになりました。

紙面にてご覧ください。